

2025年度 教員研究費（重点）

イギリス公教育制度における 独立学校視察機関の 役割と影響力の解明

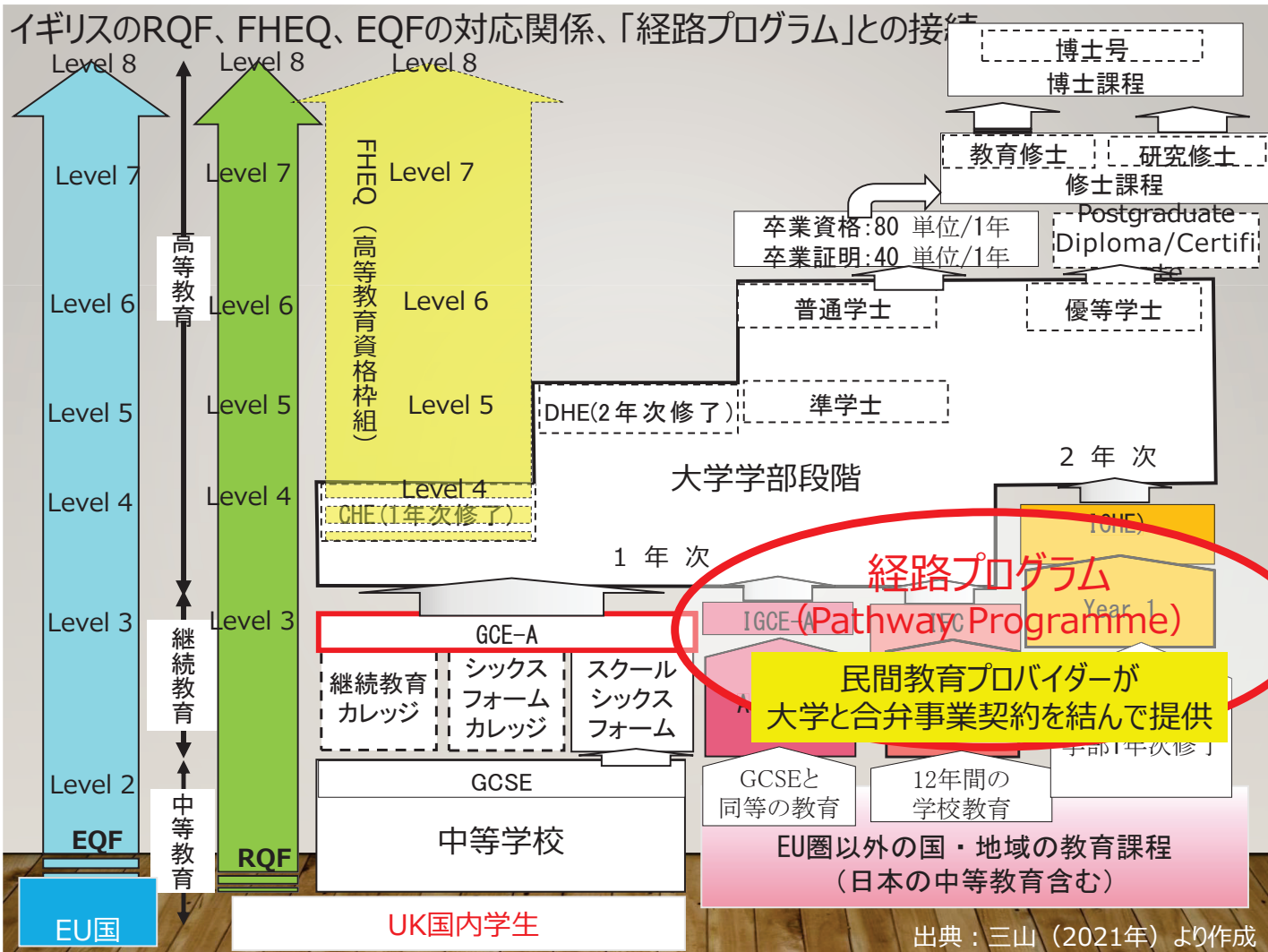
教育学部児童教育学科
准教授 三山 緑
於・大講義室 5 June 2026

はじめに

これまでの研究

- ①「イギリスにおける大学附設学校の役割－留学生に対する「経路プログラム」を通じた大学正規課程準備教育－」西日本教育行政学会『教育行政学研究』第42号、2021年。
→留学生を対象に、イギリスの大学学部段階や大学院への進学・編入学をサポートする「経路プログラム（pathway programme）」の意義
- ②「イギリス独立学校視察機関の組織と役割：国際教育戦略における存在意義」『福山市立大学教育学部研究紀要』第13号、2025年。
→①での発見をふまえ、海外展開するイギリスの独立学校（independent schools）の視察を行う独立学校視察機関（Independent Schools Inspectorate: ISI）の役割を整理。ISIの組織編成、教育省や内務省、教育水準局（OFSTED）との権限関係、視察のプロセス

これまでの研究成果をふまえ、イギリス国内外の独立学校へのISIの活動の詳細について、情報収集を中心に研究を行う。



独立学校視察機関 (ISI) の役割

沿革: 独立学校協議会 (the Independent Schools Council: ISC) が母体
加盟校同士で学校教育の評価活動を行ってきた

↓
1992年教育法 (Education (Schools) Act 1992) を一つの契機として、ISC組織の再編が
続き、2007年にISCから視察機能を分離・独立 → 有限責任会社ISIの誕生

教育の質

生徒の福祉、健康安全

スポンサーライセンス

運営状況

スタッフの適合性

教育機関は検査料を払ってISIに申請 → 定期視察は3年サイクル

① 国内の独立学校

② 国外の独立学校

③ 私立継続教育機関

→ ISC加盟校

→ BSO認定校

→ 経路プログラム

教育省が定める「独立学校基準」の項目の中の一つでも「適合しない」学校は、
教育省から「アクション・プラン」の提出を求められる

ちなみに、いわゆる公立学校 (公営学校) の視察については、1992年教育法に基づき、
教育水準局 (Office for Standard in Education: OFSTED) が行う

国外の視察活動について

2014年、教育省は「国外イギリス学校基準 *British Schools Overseas: Standards for Schools* (BSO基準)」を制定

①イギリス国外で展開するボーディング・スクール等も視察対象

視察を受けることで、
BSO認定校の看板を維持

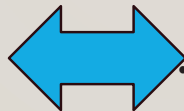


(1) 日本に設置された
ボーディングスクール

- ・Harrow Appi Japan (2022年)
- ・Rugby School Japan (2023年)

等

認定機関
Cambridge国際など



(2) 日本的一条校でありながら
イギリス式教育を提供する学校

- ・Cambridge International Curriculum
- ・International Primary Curriculum

等の認定を受けている学校

例) 仙台育英高校外国語コース
神石インターナショナルスクール

イギリス式教育の受け入れ方の違い: (1) と (2) の対比

成果と課題

(1)、(2) の運営について、現地調査をすることが目下の目標

○教育課程特例校として、イマージョン教育を行う国・公・私立学校が相当数存在することは認識していたが、学習指導要領に準拠しながらCambridge国際などのイギリス式教育も実施している学校が存在することが分かった。→IB教育とはまた別

○(2)の学校について、現地に出向いての聞き取り調査の前に、e-mailと電話で問い合わせてみたところ、具体的に訪問するところまで手応えを得られたわけではなかった。

今年度は、情報収集、下調べをもう少し念入りに行おうと考えている

